

## がん検診精度管理推進のための関係機関調査 取りまとめ結果

○調査依頼先： 千葉県内の地区医師会 22団体  
 ○調査期間： 平成28年10～11月

回答有	18
未回答	4
計	22

回収率	82%
-----	-----

### 問1 市町村がん検診の受託状況

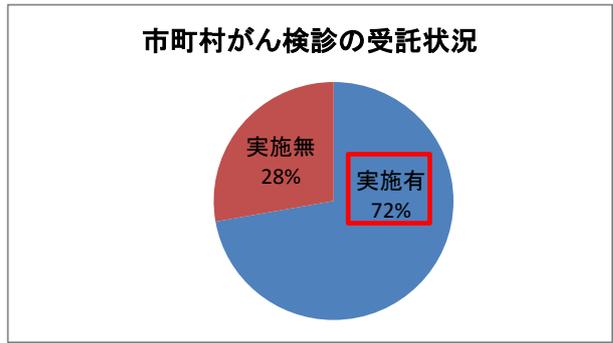
・約7割の医師会が市町村からがん検診を受託しており、各地域でのがん検診の実施に、医師会が一定の役割を果たしていることを示していた。またその実施形態は、個別検診が多かった。

・医師会に所属する検診実施機関の数は、がん種別によって異なっており、大腸がん検診の実施機関は、10医師会で計931機関と最も多く、平成28年度に新たに指針に位置づけられた胃内視鏡検査の実施機関は、4医師会で計67機関と最も少なかった。

#### 1-1) 各市町村からのがん検診の受託状況

実施有の医師会	13
実施無の医師会	5
その他	0
計	18

(※市町村に確認の上、一部修正)



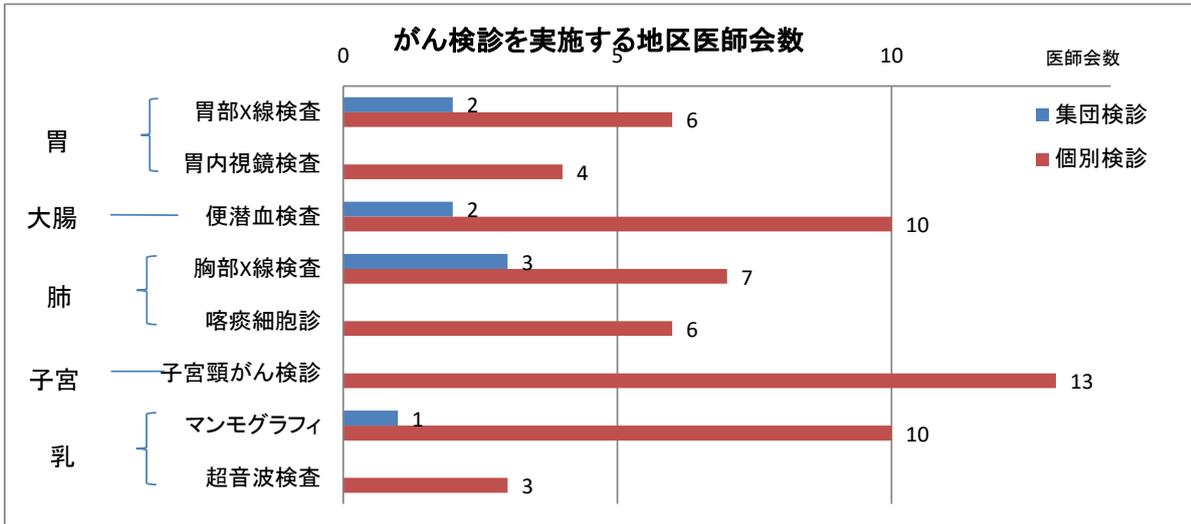
～ 以下、実施有の医師会(13団体)の集計結果 ～

#### 1-2) 実施している検査項目及び検診実施機関数等

○全体

		検診を実施している医師会の数		医師会所属の検診実施機関数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
胃がん検診	胃部X線検査	2	6	2	236
	胃内視鏡検査	0	4	0	67
大腸がん検診	便潜血検査	2	10	2	931
肺がん検診	胸部X線検査	3	7	9	711
	喀痰細胞診		6		659
子宮頸がん検診	視診・細胞診・内診	0	13	0	151
乳がん検診	マンモグラフィ	1	10	1	91
	超音波検査	0	3	0	90

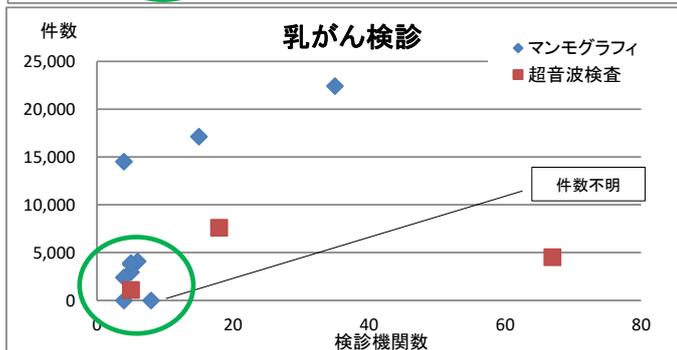
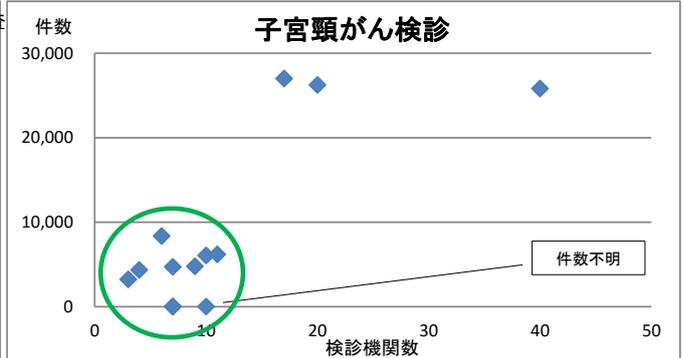
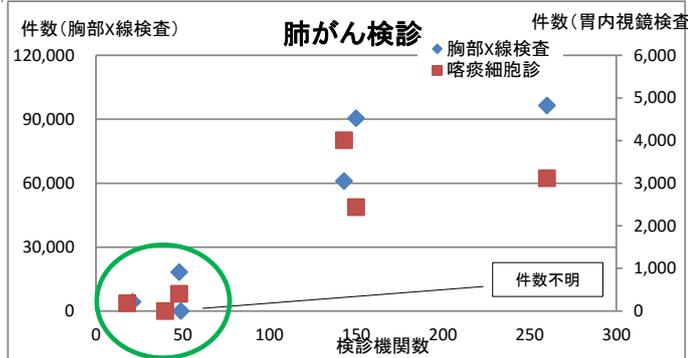
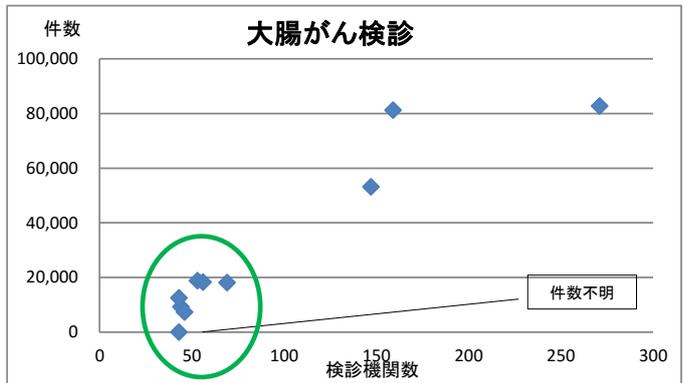
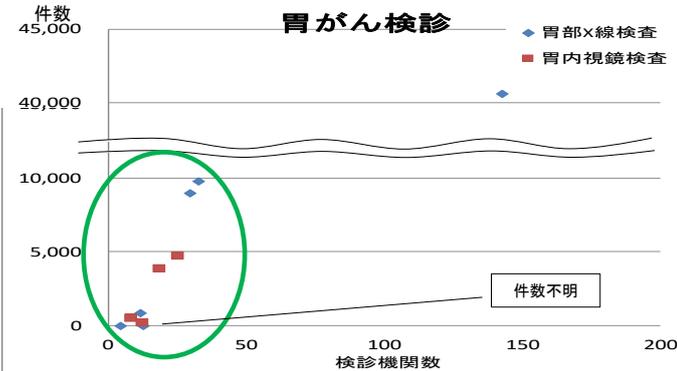
(※市町村に確認の上、一部修正)



○個別検診に係る検診実施機関数と規模

	胃がん検診				大腸がん検診		肺がん検診			
	胃部X線検査		胃内視鏡検査		便潜血検査		胸部X線検査		喀痰細胞診	
	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数
医師会1	5	34	9	480	43	12,493	21	4,259	18	184
医師会2	12	895	13	206	43	(不明)	40	(不明)	40	(不明)
医師会3	13	(不明)	19	3,830	44	9,227	48	18,259	48	404
医師会4	30	9,011	26	4,749	46	7,295	49	(不明)	143	4,007
医師会5	33	9,816			53	18,786	143	61,043	150	2,436
医師会6	143	40,652			56	18,303	150	90,504	260	3,112
医師会7					69	18,073	260	96,392		
医師会8					147	53,122				
医師会9					159	81,174				
医師会10					271	82,695				
計	236	60,408	67	9,265	931	301,168	711	270,457	659	10,143

	子宮頸がん検診		乳がん検診			
			マンモグラフィ		超音波検査	
	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数	検診機関数	H27年度検診実施件数
医師会1	3	3,215	4	2,393	5	1,094
医師会2	4	4,334	4	14,511	18	7,598
医師会3	6	8,361	4	(不明)	67	4,516
医師会4	7	4,695	5	2,945		
医師会5	7	(不明)	5	3,778		
医師会6	7	(不明)	5	3,900		
医師会7	9	4,760	6	4,090		
医師会8	10	6,046 (体部739)	8	(不明)		
医師会9	10	(不明)	15	17,115		
医師会10	11	6,192	35	22,415		
医師会11	17	26,984				
医師会12	20	26,241				
医師会13	40	25,824				
計	151	110,606	91	71,147	90	13,208

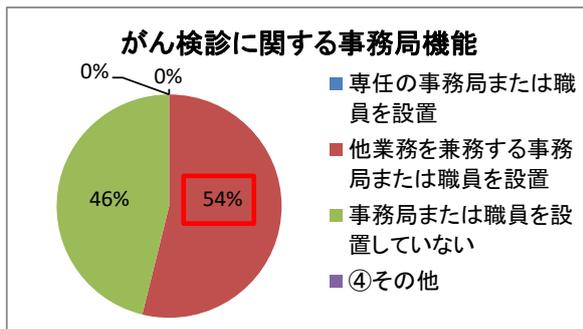


横軸: 検診実施機関数  
縦軸: H27年度の検診実施件数

問2 がん検診に関する事務局機能

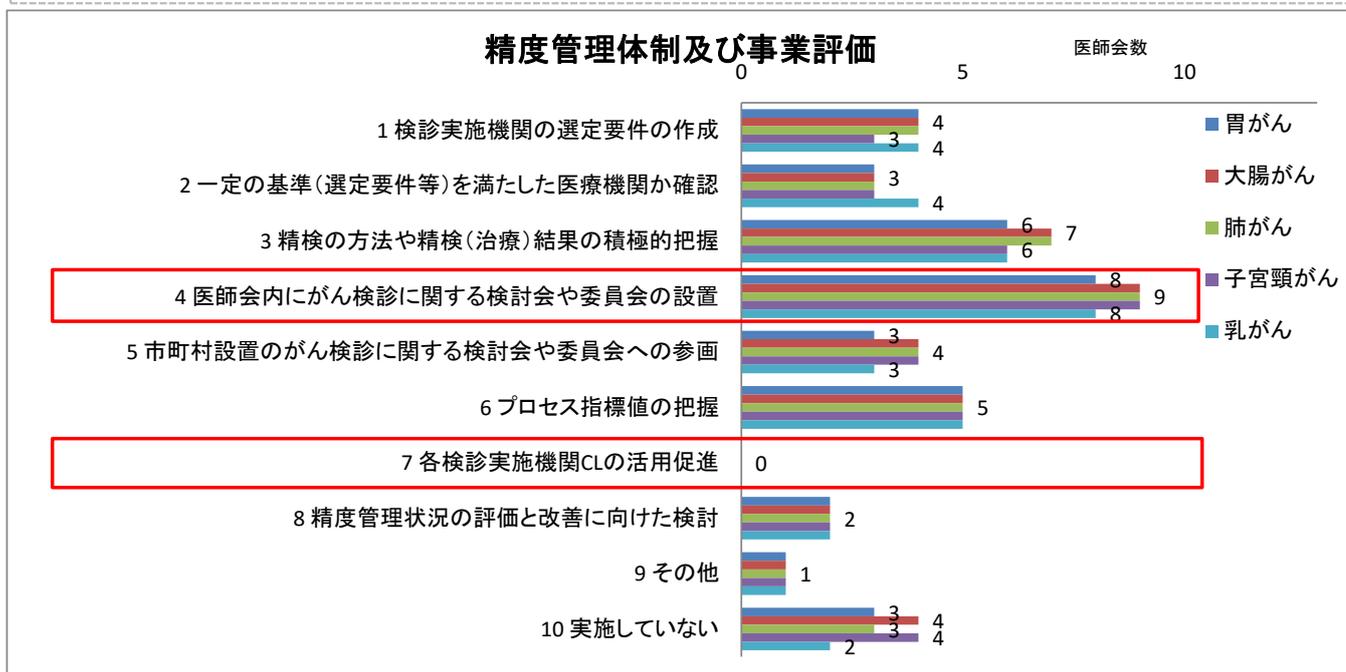
・医師会内に、他業務を兼務する事務局または職員を設置している医師会は約5割であった。残る約5割の医師会では、がん検診に関する事務局または職員を設置していなかった。

	医師会数
① 医師会内に、がん検診事業専任の事務局または職員を設置(配置)している	0
② 医師会内に、がん検診事業と他業務を兼務する事務局または職員を設置(配置)している	7
③ 医師会内に、がん検診事業に係る事務局または職員を設置(配置)していない	6
④ その他	0



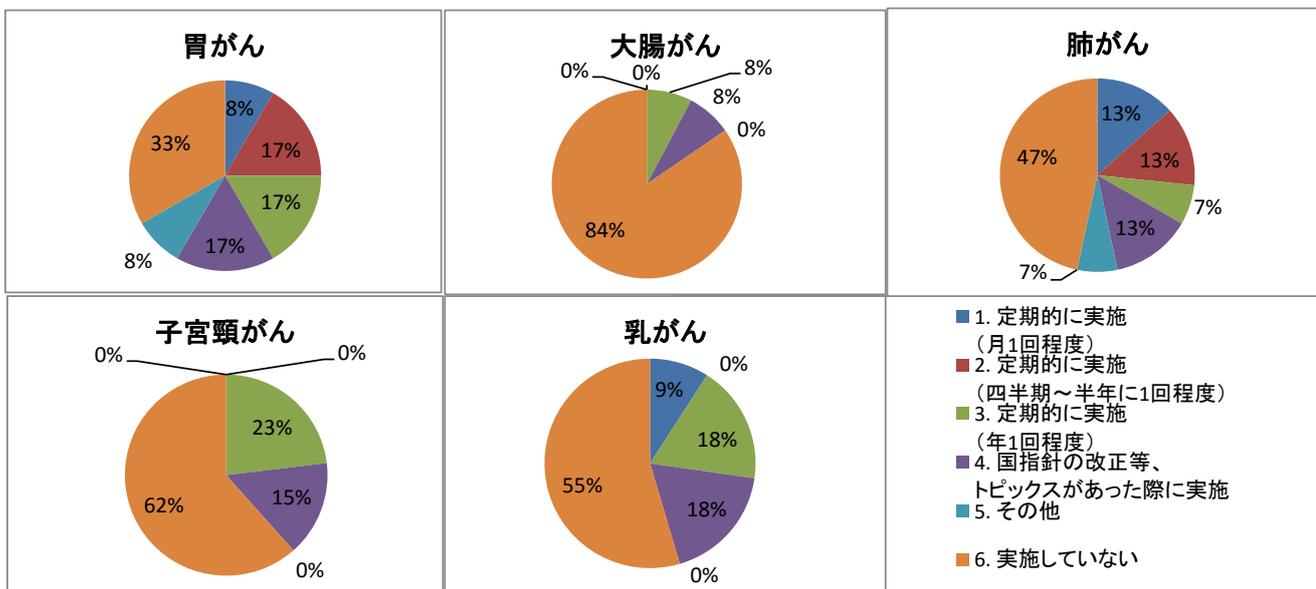
問3 精度管理体制及び事業評価の実施状況 (複数回答有)

・医師会のがん検診の精度管理・事業評価への関与として最も多かったのは、いずれのがん種別においても、「がん検診に関する検討会や委員会の設置」であった。  
 ・なお、平成28年度から個別検診に適用可能となった「事業評価のためのチェックリスト(以下、「CL」)」の活用促進については、現時点では取り組む医師会はなかった。



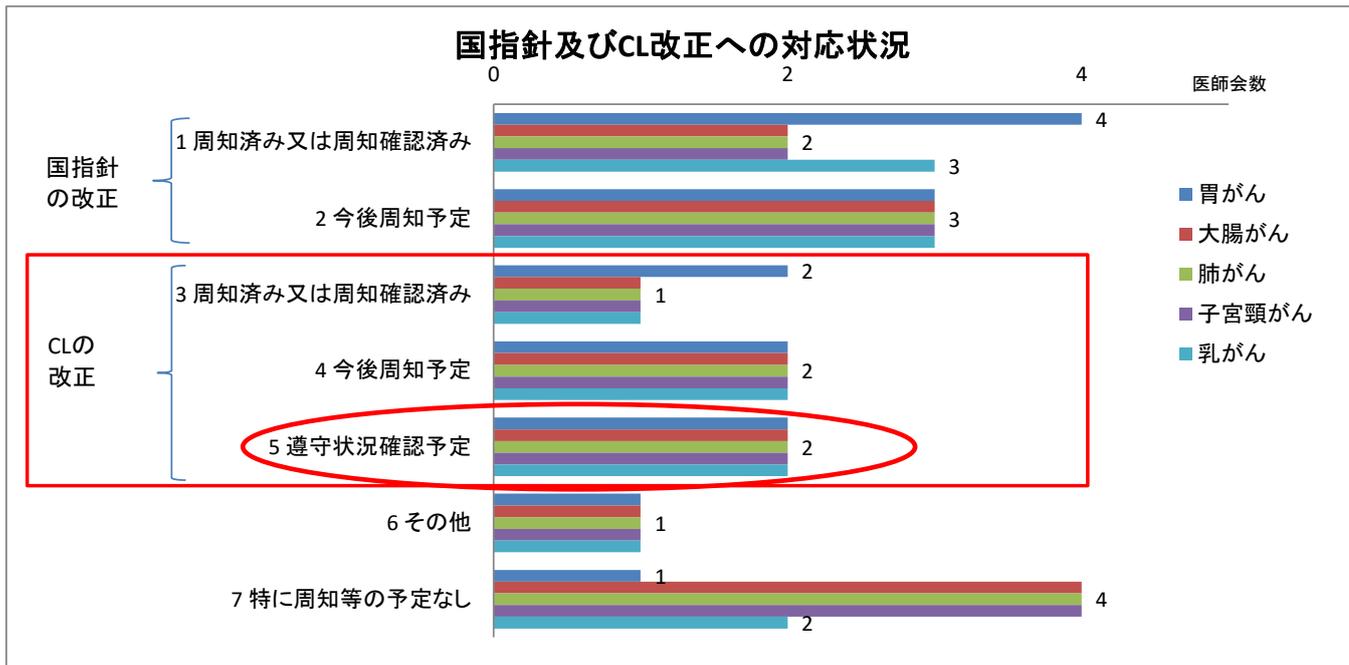
問4 検診実施機関の従事者等を対象とした研修会の開催状況

・がん検診の精度管理向上に向けた従事者研修会の開催状況は、がん種別によって異なっていた。  
 ・胃がんは最も多くの医師会で研修会が開催されており、約4割の医師会では定期的に研修会が実施されていた。  
 ・一方、大腸がんでは検診の機会を設けている医師会が少なく、約8割の医師会が実施無しと回答した。



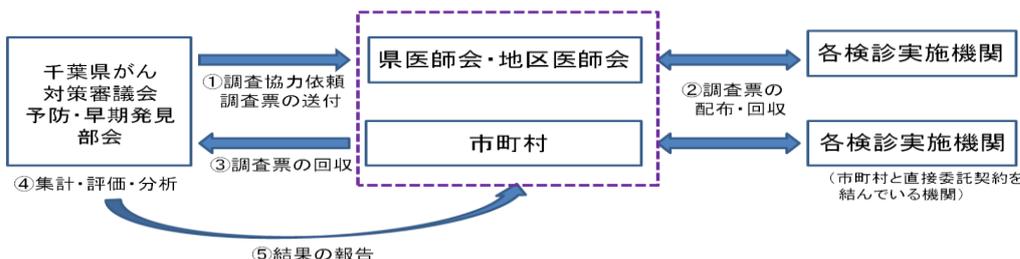
問5 国指針及びCLの改正への対応状況（複数回答有）

- ・平成28年の国指針及びCLの改正を受け、所属する検診実施機関に対し、それぞれの改正を周知（確認）済み又は今後周知予定と回答した医師会は一定数あった。一方で、特に周知等を行う予定はないと回答した医師会も一定数あった。
- ・平成28年度のチェックリストの改正を受け、2医師会が、今後順守状況を確認予定と回答した。



問6 個別検診の精度管理調査の調査体制等への御意見（自由記載）

調査票に提示した、個別検診の調査体制のイメージ



・現在、当市では、胃がん検診として、胃エックス線検査に加え、胃がんリスク検診を導入しております。また、その他のがん検診においても、国や千葉県が求める「がん検診事業評価のためのチェックリスト」の内容は、医療資源や財政面からかなり高いハードルになることが、予想されます。もし、今後検診内容の平準化に向けて進めるにしても、各地域の現状を御理解いただき、現状に即した調査としていただくことを希望します。

・各医療機関向けの調査実施の内容は、調査開始前に、各地区医師会に御連絡いただけるのでしょうか？可能ならば、当医師会担当で、事前に確認し、医師会員に説明をする時間をいただくと助かります。

地区医師会が各がん検診の精度管理に係ることは理想ですが、当医師会ではほとんどできていません。事務体制を含めた情報伝達もしっかりお願いします。

- ①がん検診は、本来、市町村と医師会との委託契約であり、地区医師会、千葉県医師会が、千葉県がん対策審議会に集計結果を報告しなければならない理由が分からないので、不要であるとする。
- ②地区医師会から、各検診実施機関へ調査票送付作業は、対応することが困難である。仮に地区医師会で実施する場合、郵送、事務費等を負担いただかないと協力できない。
- ③調査票の実施が必須となった場合、検診機関の業務量が増え、市町村で実施しているがん検診に協力する医療機関が減少する。
- ④ダブルチェックを個別検診で実施するのは、現実的には困難である。